

令和6(2024)年12月 軽自動車新車販売速報

令和7(2025)年1月6日
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：赤間俊一、略称：全軽自協）の調べによる令和6(2024)年12月の軽自動車新車販売台数(新車新規検査台数、トレーラー等を除くナンバーベース)は、全体で119,040台、前年同月比8.8%減となり、5か月連続のマイナスとなりました。

車種別では、乗用車が95,812台で前年同月比5.1%減(3か月連続減)、貨物車が23,228台で同21.5%減(2か月連続減)。貨物車の内訳は、ボンネットバンが2,906台で前年同月比2.9%減(4か月ぶり減)、キャブオーバーバンが13,860台で同7.1%減(2か月連続減)、トラックが6,462台で同44.6%減(2か月連続減)となっています。

この結果、令和6(2024)年の年間新車販売台数は1,557,868台、前年比10.7%減となり、2年ぶりのマイナスとなりました。

年間販売台数の内訳は、乗用車が1,202,095台、前年比10.4%減(2年ぶり減)、貨物車は355,773台で同11.8%減(2年連続減)。貨物車の内訳は、ボンネットバン37,299台で同8.8%減(3年ぶり減)、キャブオーバーバン180,449台で同12.0%減(2年連続減)、トラック138,025台で同12.4%減(2年連続減)となっています。